

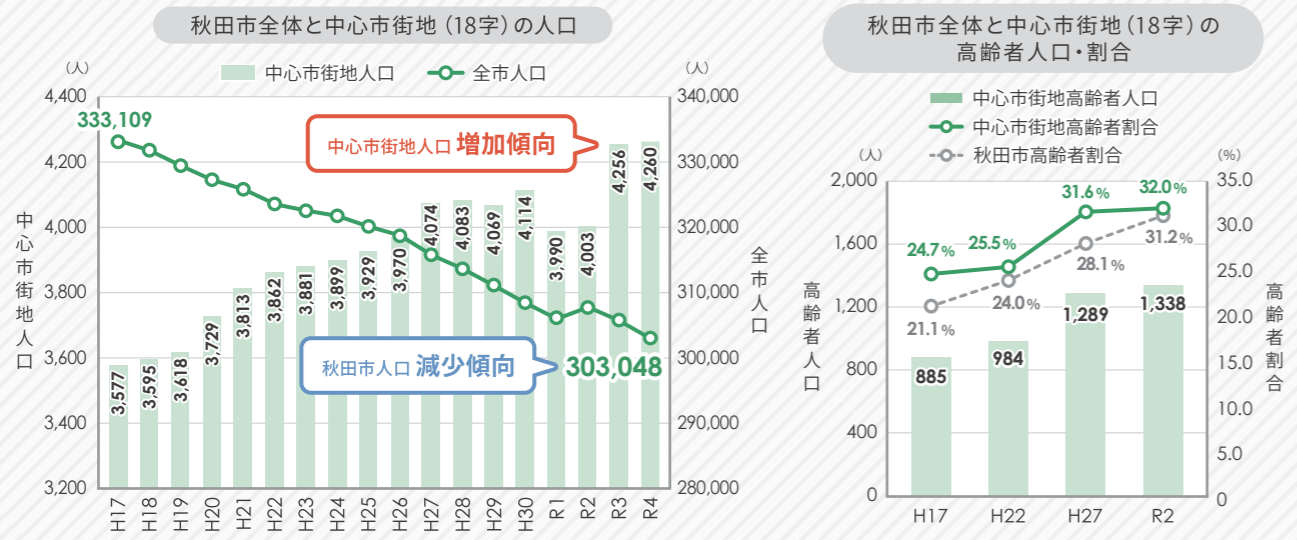
# 中心市街地の現況

第2章では、秋田市全体や中心市街地に関する各種統計データ、令和4年4月に市民ニーズの把握のために実施したアンケート調査、第2期計画で設定した目標指標の達成状況の3つの視点から、中心市街地の現況について検証します。

## 視点1 統計データから見た整理

### 人口動向

- 秋田市全体の人口は減少傾向にあるものの、中心市街地の人口はマンション建設などにより増加傾向にあります。
- 一方で、高齢化率は秋田市全体の傾向と同様に増加傾向にあります。



資料：「国勢調査」「秋田市年齢別・地区別人口」 ※中心市街地人口：小字ごとの面積比を乗じて算出  
 中心市街地(18字)：手形字西谷地、東通仲町、中通七丁目、千秋城下町、千秋久保田町、中通二丁目、中通四丁目、千秋矢留町、千秋明徳町、中通一丁目、中通三丁目、保戸野通町、大町一丁目、大町二丁目、大町三丁目、大町四丁目、大町五丁目

### 商業動向

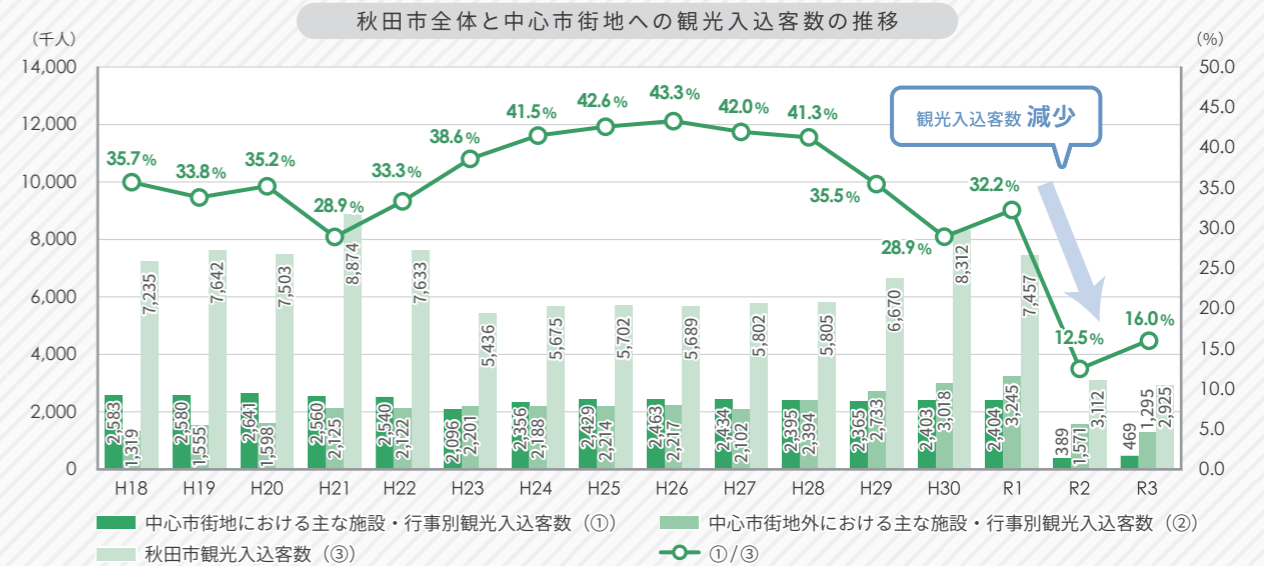
- 中心市街地に空き店舗が継続的に発生しています。



資料：秋田市商工貿易振興課  
 空き店舗の定義：各商店街振興組合等の区域において、建物の1階部分が空いていて、事業者を募集している物件  
 ※各商店街振興組合等：駅前広小路商店街振興組合、広小路商店街振興組合、旧中央通商店街振興組合、大町商店街振興組合通町商店街振興組合、仲小路振興会  
 ※令和4年調査においては、データ収集方法が変更となったため、旧中央通商店街振興組合について計測していない。

### 観光

- 近年、中心市街地における観光入込客数は、ほぼ横ばいの傾向でした。
- 令和2～3年の観光入込客数は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に減少しました。

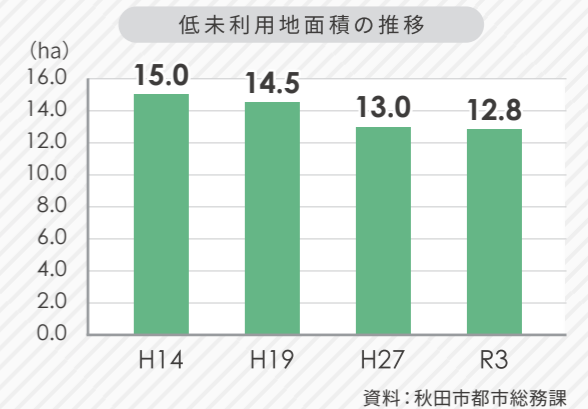


資料：「令和3年秋田県観光統計」(秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課)  
 ※平成23年以降の観光地点等入込客数調査については、調査対象地点を平成23年から観光庁による共通基準に基づく区分に変更したため、平成22年以前のデータとは単純に比較できない。

### 土地

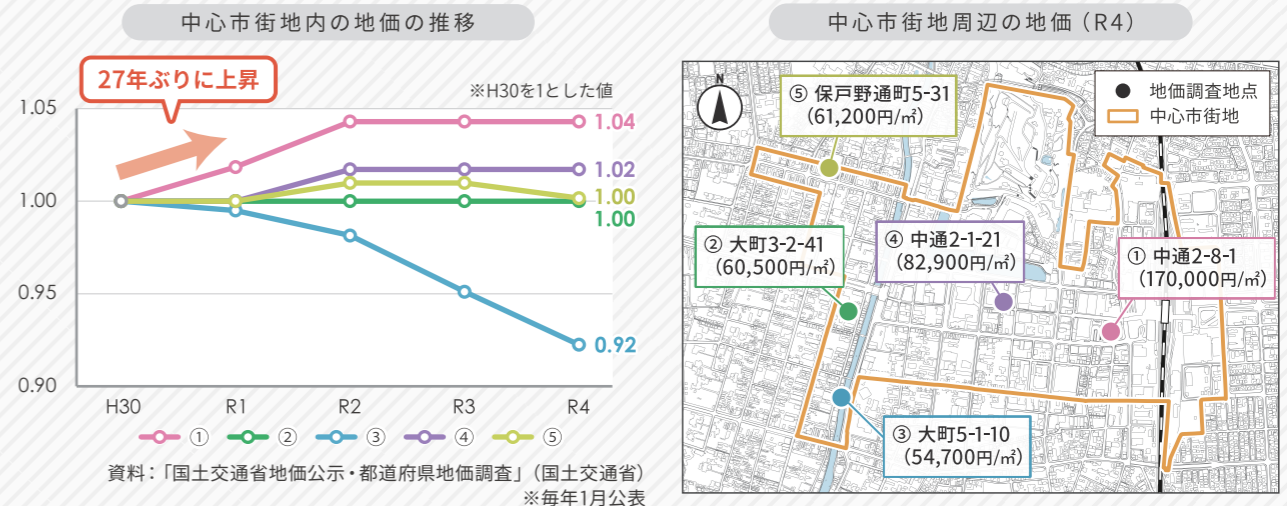
#### 低未利用地

- 中心市街地には約12.8haの低未利用地が存在しています。
- そのうち、隣接地と合わせて、おおむね1,000㎡以上となる大規模低未利用地は約6.8haとなっています。



#### 地価

- 駅前商業地の一部地点の地価が、令和元年に27年ぶりに上昇に転じました。

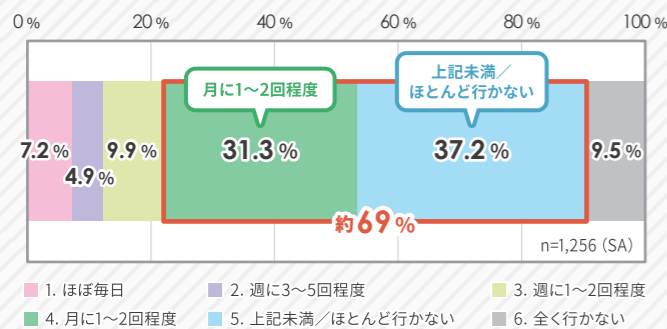


視点2 市民ニーズから見た整理

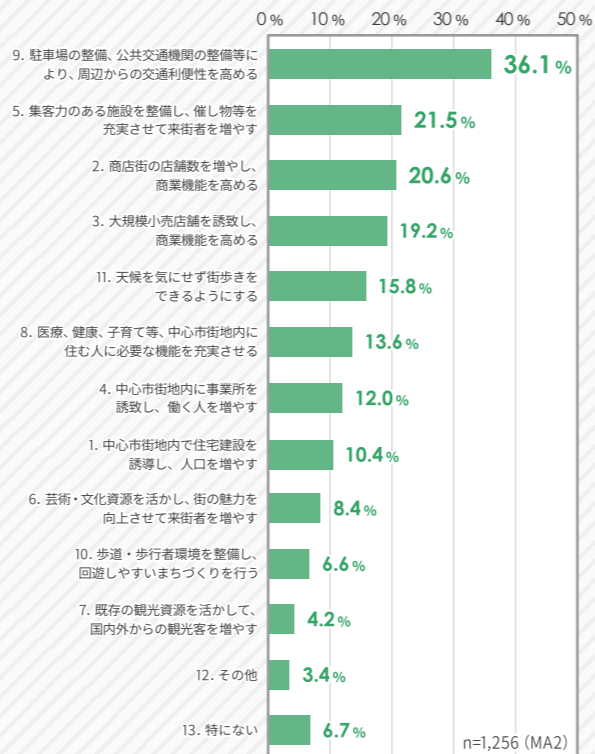
市民アンケート調査

- 中心市街地への来訪頻度は「月に1~2回」「上記未滿/ほとんど行かない」といった低頻度が約69%を占めています。
- 今後の中心市街地活性化の方向性として「周辺からの交通利便性を高める」「集客力のある施設整備等来訪者を増やす」「商店街の店舗数を増やす」といった項目を回答した人が多くなっています。

中心市街地を普段どのくらい利用していますか。  
【コロナ禍以降(2020年2月~現在)】



今後、中心市街地の活性化の方向として、ふさわしいと思うものはどれですか。(2つまで)

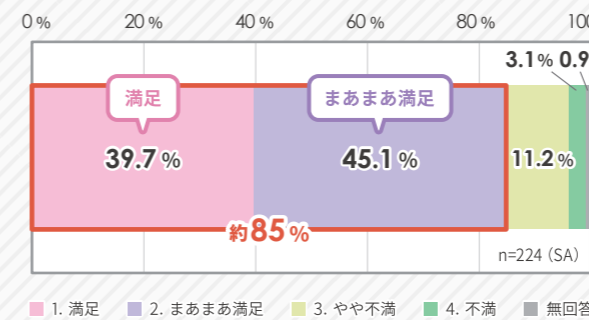


資料：市民アンケート調査結果(令和4年4月)

居住者アンケート調査

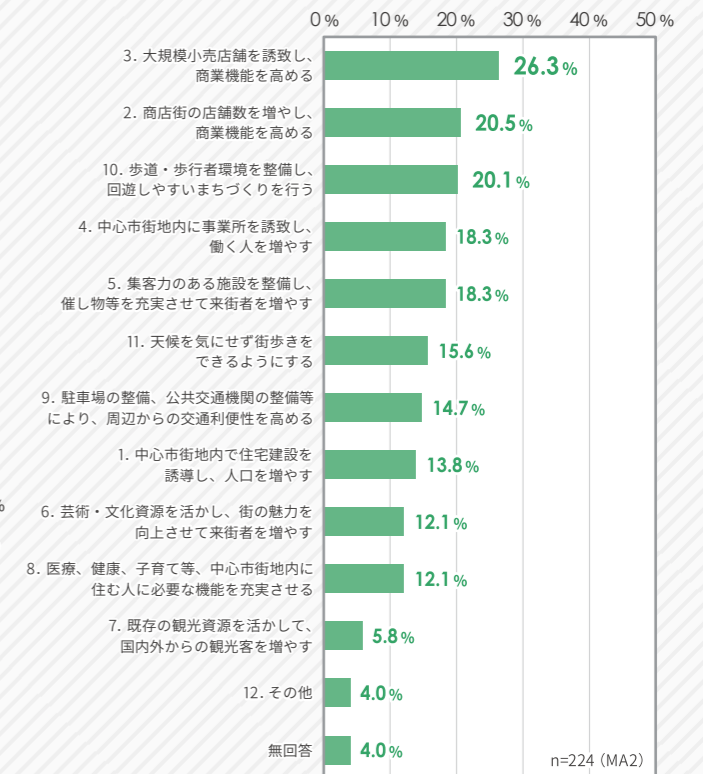
- 居住者の周辺環境への満足度は「満足」「まあまあ満足」を合わせて約85%と高い満足度を示しています。
- 今後のまちづくりの方向として「大規模小売店舗を誘致し、商業機能を高める」、「商店街の店舗数を増やし、商業機能を高める」、「歩道・歩行者環境を整備し、回遊しやすいまちづくりを行う」がふさわしいといった意見が多くなっています。

あなたは、現在お住まいの周辺環境に満足されていますか。



資料：居住者アンケート調査結果(令和4年4月)

今後、中心市街地のまちづくりの方向として、ふさわしいと思うものはどれですか。(2つまで)

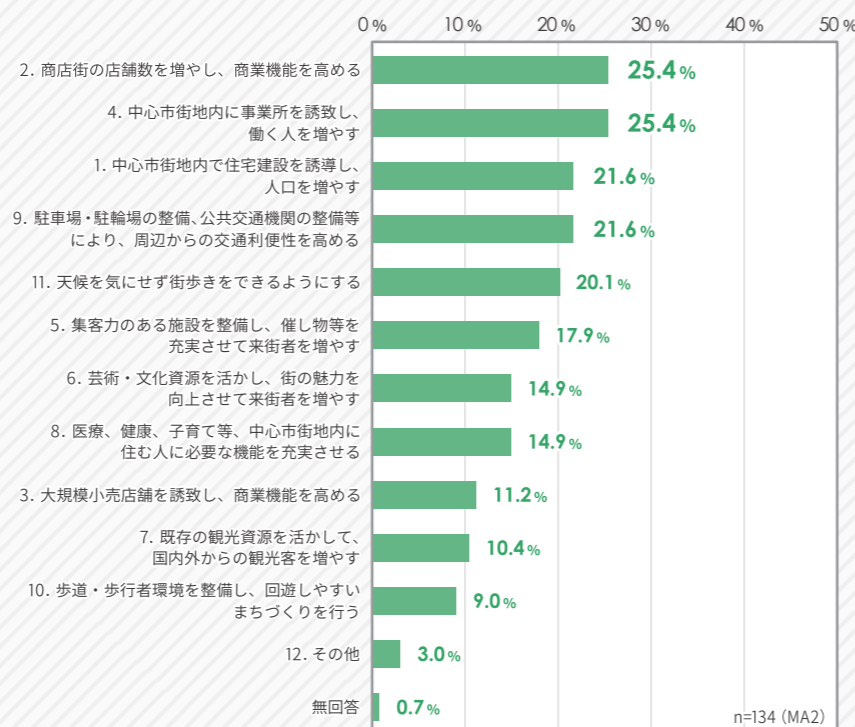


資料：居住者アンケート調査結果(令和4年4月)

店主アンケート調査

- 今後の中心市街地活性化の方向性として「店舗数を増やし商業機能を高める」「中心市街地内に事業所を誘致し働く人を増やす」といった項目を回答した人が多くなっています。

今後、中心市街地のにぎわいづくりの方向として、ふさわしいと思うものはどれですか。(2つまで)

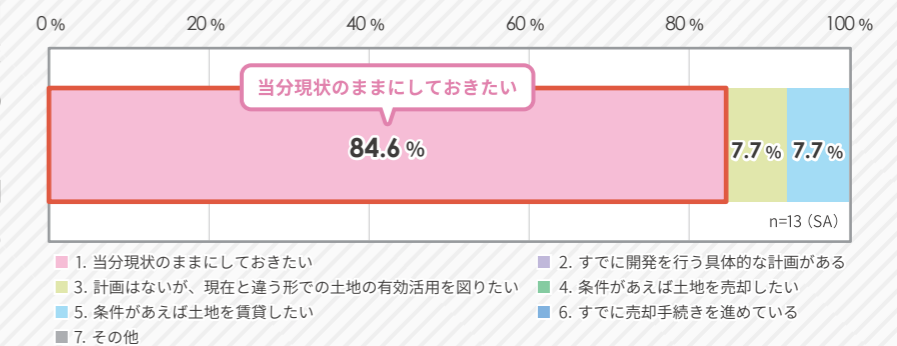


資料：店主アンケート調査結果(令和4年4月)

低未利用地アンケート調査

- 低未利用地の今後の活用方針として「当分現状のままにしておきたい」が約85%を占めています。
- 「現在と違う形で有効活用を図りたい」といった意見も少数見られました。

あなたが所有している駐車場等について、今後どのように利用したいと考えていますか。

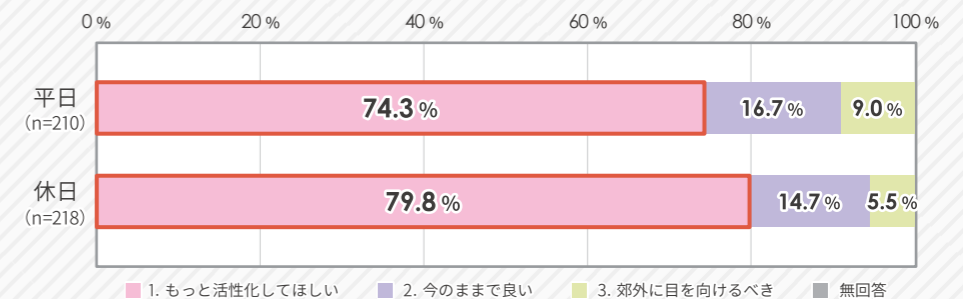


資料：低未利用地アンケート調査結果(令和4年4月)

街頭ヒアリング調査

- 中心市街地に対して、平日・休日ともに70%以上の来訪者が「もっと活性化してほしい」と更なる活性化を求めています。

あなたは、今後、中心市街地はどのようになってほしいと思いますか。



資料：街頭ヒアリング調査結果(平日：令和4年4月11日(月)、休日：令和4年4月10日(日))

視点3 第2期計画の目標指標の達成状況から見た整理

本市では、平成29年3月に秋田市中心市街地活性化基本計画（第2期計画）の内閣総理大臣の認定を受け、中心市街地の総合的活性化に取り組んできました。

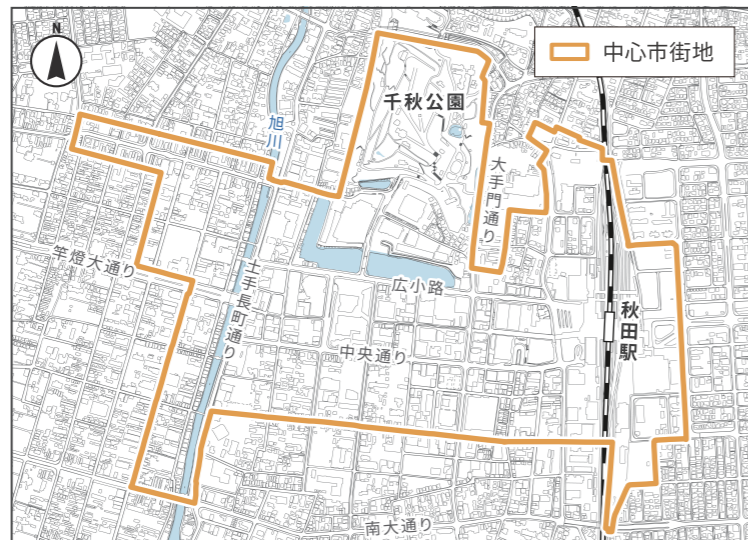
(1) 第2期計画の概要

計画期間 平成29年4月～令和4年3月 区域面積 約115ha

中心市街地活性化の基本的な方針および目標

基本方針	目標	目標指標	基準値	目標値
1 多様な人々が行き交い、新しい文化を育む舞台の形成	行きたい街 市内外から来訪する多くの交流人口が行き交うまち	歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均)	32,484人 (H28)	35,000人 (R3)
		芸術文化施設利用者数	966人/日 (H27)	1,530人/日 (R3)
2 快適な居住環境の形成と既存ストックの有効活用	住みたい街 愛着と誇りを持って多くの市民が暮らすまち	中心市街地における人口の社会増加数	26人 (H24～H28の累計)	240人 (H29～R3の累計)
3 店舗を主とした事業所の立地促進と市民活動の推進	活力ある街 新たな市民文化を育む多世代が交流する活力あるまち	商業集積促進関連制度利用件数	34件 (H23～H27の累計)	50件 (H29～R3の累計)
		市民活動等施設利用件数	20,196件 (H27)	20,800件 (R3)

区域図



(2) 第2期計画の事業の進捗状況

第2期計画で掲載した66事業のうち、65事業が計画期間内に実施され、1事業が未実施となっています。

事業実施状況

実施事業 65事業		支援制度
1	消融雪施設整備事業	防災・安全交付金 (道路事業)
2	市道千秋明徳町1号線無電柱化事業	防災・安全交付金 (道路事業)
3	都市計画道路事業千秋久保田町線	防災・安全交付金 (道路事業)
4	秋田駅西北地区土地区画整理事業	社会資本整備総合交付金 (道路事業)
5	秋田ノーザンゲートスクエア整備事業	社会資本整備総合交付金 (優良建築物等整備事業)
6	千秋公園整備事業	防災・安全交付金 (都市公園・緑地等事業)
7	秋田駅北第一地区市街地再開発事業	
8	コミュニティサイクル導入調査事業	
9	あきた芸術劇場整備事業 (県・市連携文化施設整備事業)	社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業)
10	秋田市文化創造館整備事業	社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業)
11	ノーザンステーションゲート秋田プロジェクト	
12	秋田版CCRC事業 (中通二丁目地区優良建築物等整備事業)	中心市街地共同住宅供給事業
13	まちなか居住推進事業 (空き家定住推進事業)	社会資本整備総合交付金 (地域住宅計画に基づく事業 (地域住宅政策推進事業))
14	住宅リフォーム支援事業	防災・安全交付金 (住宅・建築物安全ストック形成事業と一体の効果促進事業)
15	文化創造プロジェクト推進経費	中心市街地活性化ソフト事業
16	官民連携秋田駅周辺活性化事業	中心市街地活性化ソフト事業
17	なかいちウィンターパーク	中心市街地活性化ソフト事業
18	アキタミュージックフェスティバル (AkitaMusicFestival)	中心市街地活性化ソフト事業
19	千秋公園桜まつり・つつじまつり	中心市街地活性化ソフト事業
20	中心市街地出店促進融資あっせん制度	中心市街地活性化ソフト事業
21	中心市街地商業集積促進補助制度	中心市街地活性化ソフト事業
22	中心市街地まちづくりイベント支援事業	中心市街地活性化ソフト事業
23	ギュギュっとあきた週末イベントリレー開催経費	中心市街地活性化ソフト事業
24	これが秋田だ！食と芸能大祭典事業	中心市街地活性化ソフト事業
25	大型コンベンションおもてなし推進事業	中心市街地活性化ソフト事業
26	観光客等受入促進事業	中心市街地活性化ソフト事業
27	秋田竿燈まつり	中心市街地活性化ソフト事業
28	「美術館の街」活性化事業	中心市街地活性化ソフト事業
29	ユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」魅力発信事業	中心市街地活性化ソフト事業
30	秋田犬ふれあい事業	中心市街地活性化ソフト事業
31	アジアトライ千秋芸術祭	中心市街地活性化ソフト事業
32	羽州街道歴史観光推進事業	中心市街地活性化ソフト事業

事業実施状況

実施事業 65事業		支援制度
33	中心市街地魅力アップ事業	中心市街地活性化ソフト事業
34	あきたピアノフェスティバル	中心市街地活性化ソフト事業
35	旧県立美術館活用事業	社会資本整備総合交付金 (暮らし・にぎわい再生事業と一体の効果促進事業)
36	川反通りサイン・アーチ設置事業	地域・まちなか商業活性化支援事業 (地域商業自立促進事業)
37	広小路インバウンド対策事業	商店街・まちなかインバウンド促進支援事業 (商店街インバウンド促進支援事業)
38	秋田市民市場活性化事業(再形成事業)	地域・まちなか商業活性化支援事業 (地域商業自立促進事業)
39	チャレンジオフィスあきた運営事業	地方創生拠点整備交付金・地方創生推進交付金
40	なかこうじ街中ハロウィンフェスタ	Go To商店街
41	店舗魅力向上推進事業	
42	なかいち芸術文化施設連携事業	
43	ウェルカムミュージック事業	
44	小売業等チャレンジ支援事業	
45	商工業振興奨励措置事業	
46	市民協働・市民活動支援事業	
47	アルヴェきらめきパフォーマー事業	
48	あきた光のファンタジー	
49	ヤートセ秋田祭	
50	ふるさと駅前カーニバル&エキマエキャンドルアート	
51	仲小路仲の日	
52	通町通の市	
53	招福狐の行列	
54	通町草市	
55	星辻神社だるま祭り	
56	大町トワイライトリレーコンサート	
57	商店街スゴロク	
58	アキタ・パール街	
59	川反サンバカーニバル	
60	川反外町街なかインバウンド促進事業	
61	たまご遊園地夏祭り	
62	大型商業施設のリニューアル	
63	秋田拠点センターアルヴェローカル5G基地局整備経費負担金	
64	中心市街地循環バス運行事業	中心市街地活性化ソフト事業
65	高齢者コインバス事業	
未実施 1事業		
66	旧秋田魁新報社跡地への商業施設の整備	

(3) 第2期計画の目標ごとの評価

1) 目標指標の達成状況

第2期計画では、3つの活性化の目標と5つの目標指標を掲げており、最終フォローアップにおける目標指標の達成状況は下表のとおりとなっています。

- ✓ 「商業集積促進関連制度利用件数」は目標値を達成
- ✓ 「中心市街地における人口の社会増加数」は目標値には達していないものの増加傾向
- ✓ 「歩行者・自転車通行量」、「芸術文化施設利用者数」、「市民活動等施設利用件数」は目標値未達(新型コロナウイルス感染拡大が影響)

目標指標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	期末値		達成率 (期末値/目標値)	達成状況
				(数値)	(年月)		
行きたい街	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	32,484人(H28)	35,000人(R3)	20,539人	R3.7	59%	×
	芸術文化施設利用者数(1日あたり)	966人/日(H27)	1,530人/日(R3)	290人/日	R4.3	19%	×
住みたい街	中心市街地における人口の社会増加数(累計)	26人(H24~H28の累計)	240人(H29~R3の累計)	27人(H29~R3の累計)	R3.10	11%	△
活力ある街	商業集積促進関連制度利用件数(累計)	34件(H23~H27の累計)	50件(H29~R3の累計)	181件(H29~R3の累計)	R4.3	362%	○
	市民活動等施設利用件数	20,196件(H27)	20,800件(R3)	17,082件	R4.3	82%	×

達成

○達成、△未達成(改善)、×未達成

## 2) 各目標指標の達成状況の分析

### 1 歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）

#### 行きたい街

※各年7月後半の休日およびその直後の平日において計測。調査時間 10:00~19:00

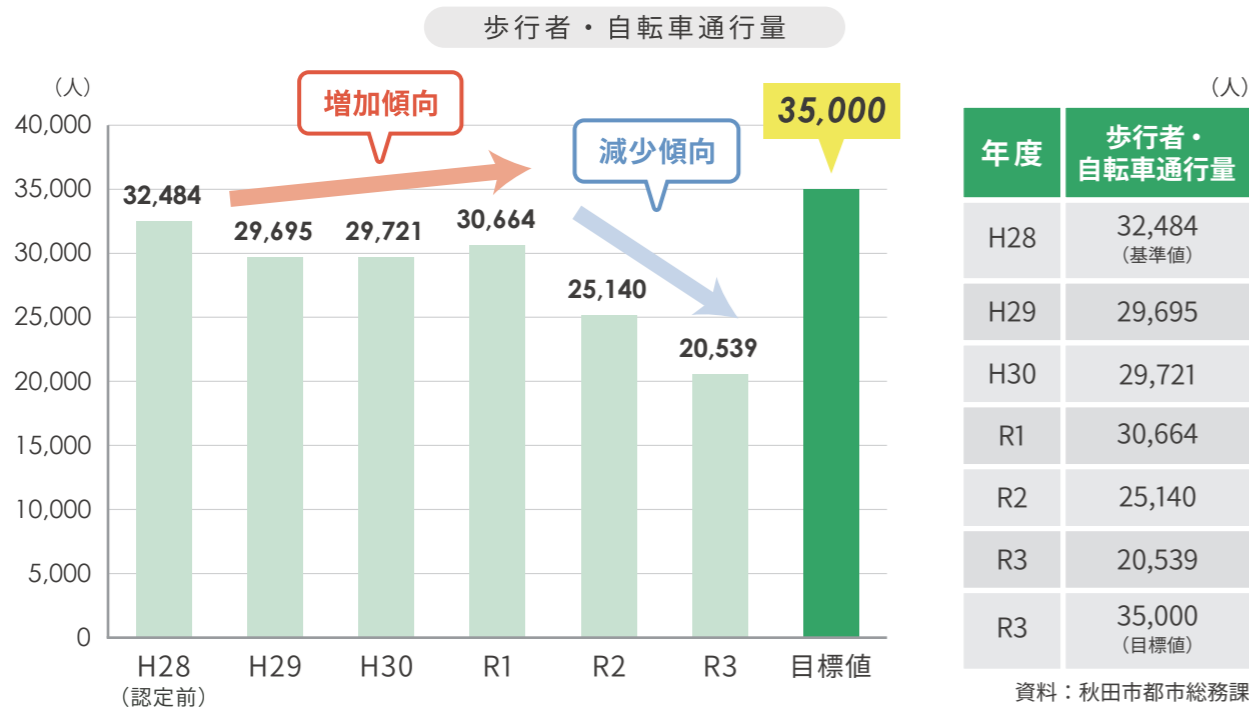
目標指標	基準値 (a)(H28)	目標値 (b)(R3)	期末値 (c)(R3)	達成率 (c/b)	増加率 ((c-a)/a)
歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均)	32,484人	35,000人	20,539人	59%	-37%

### 分析 1

#### 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、歩行者・自転車通行量が減少した。

歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）の期末値は、基準値より大幅に減少しているが、その1つの要因として、新型コロナウイルス感染拡大の影響により外出機会が減少したことが考えられます。

コロナ以前の平成29年度から令和元年度にかけては増加傾向にあったため、感染が収束することで、第2期計画で整備されたあきた芸術劇場ミルハスや秋田市文化創造館が本来の事業効果を発現し、歩行者自転車通行量は増加するものと考えられます。



### 分析 2

#### 各地点の歩行者・自転車通行量に数値の開きがあり、中心市街地全体の回遊性が低い。

地点別内訳表を見ると、期末値で比較的通行量が多いのは「フォンテ北」6,326人、「ぼぼろ一ど東口」6,122人、「アトリオン南」2,614人、比較的少ないのが、「ヤマハ秋田店前」548人、「キャッスルホテル南」407人、「大町公園橋」128人となっています。

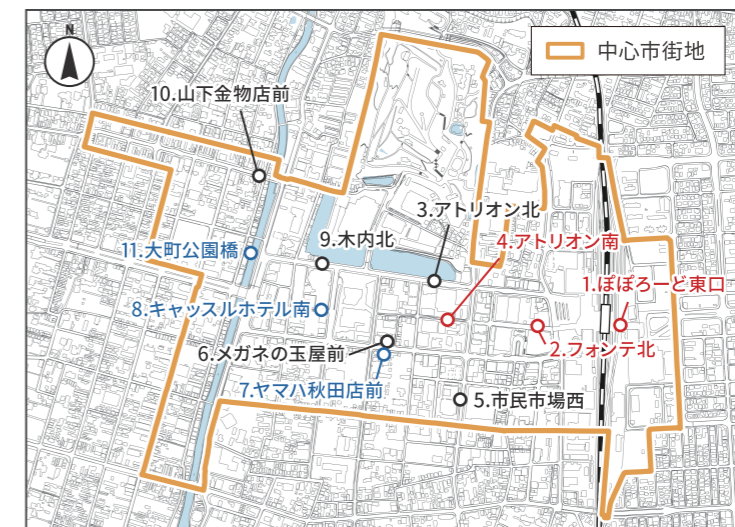
秋田駅周辺から仲小路にかけて通行量が集中し、中心市街地全体の回遊性が低い傾向にあり、駅利用者が駅に近い範囲で留まっていることが考えられます。

地点別内訳表

	平成28年度 (計画前年度)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)	令和2年度 (4年目)	令和3年度 (5年目)
1 ぼぼろ一ど東口	10,056	10,491	9,127	9,507	7,275	6,122
2 フォンテ北	9,635	8,325	8,574	8,398	7,838	6,326
3 アトリオン北	1,446	1,098	1,247	1,375	898	809
4 アトリオン南	4,123	3,096	4,132	4,863	3,149	2,614
5 市民市場西	1,575	1,303	1,340	1,304	1,561	984
6 メガネの玉屋前	759	613	689	668	616	663
7 ヤマハ秋田店前	913	705	679	659	634	548
8 キャッスルホテル南	978	888	964	976	590	407
9 木内北	1,407	1,499	1,437	1,455	1,298	1,115
10 山下金物店前	1,286	1,451	1,248	1,196	1,118	824
11 大町公園橋	307	228	286	265	164	128
合計	32,484	29,695	29,721	30,664	25,140	20,539

資料：秋田市都市総務課

調査地点図



※上位3箇所を赤字で、下位3箇所を青字で表示

2 芸術文化施設利用者数（1日あたり）

行きたい街

目標指標	基準値 (a)(H27)	目標値 (b)(R3)	期末値 (c)(R3)	達成率 (c/b)	増加率 ((c-a)/a)
芸術文化施設利用者数 (1日あたり)	966人/日	1,530人/日	290人/日	19%	-70%

分析 1

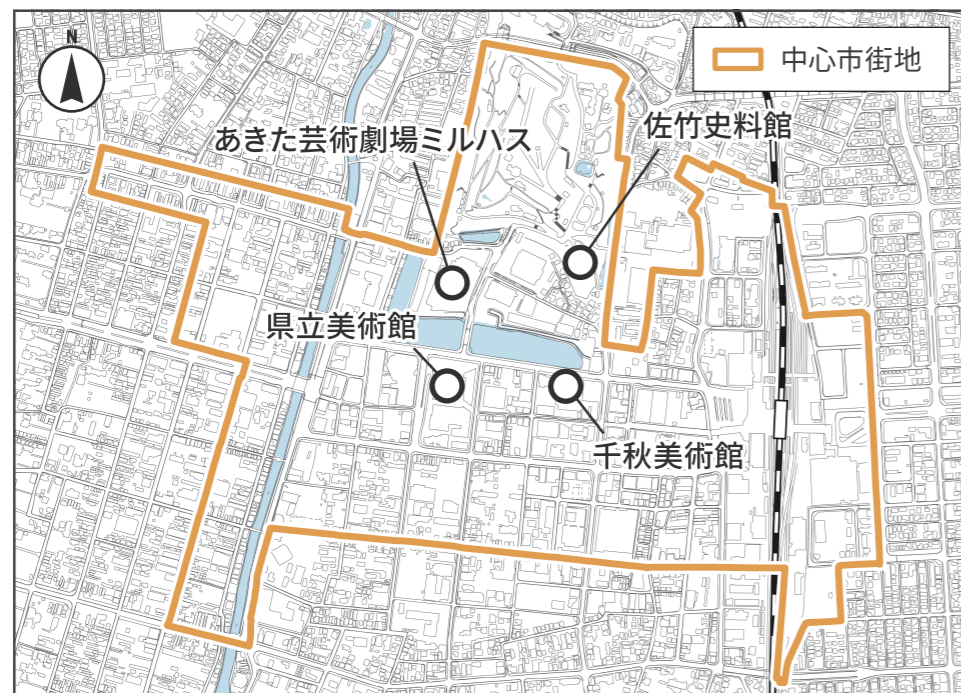
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、芸術文化施設利用者数が減少した。

新型コロナウイルス感染拡大等により、あきた芸術劇場ミルハスの工期に遅れが生じ、計画期間内の開館とならなかったことから、第2期計画策定時に見込んでいたあきた芸術劇場ミルハスの整備による増加を期末値に反映することができなかつたため、達成率が低いものとなっています。

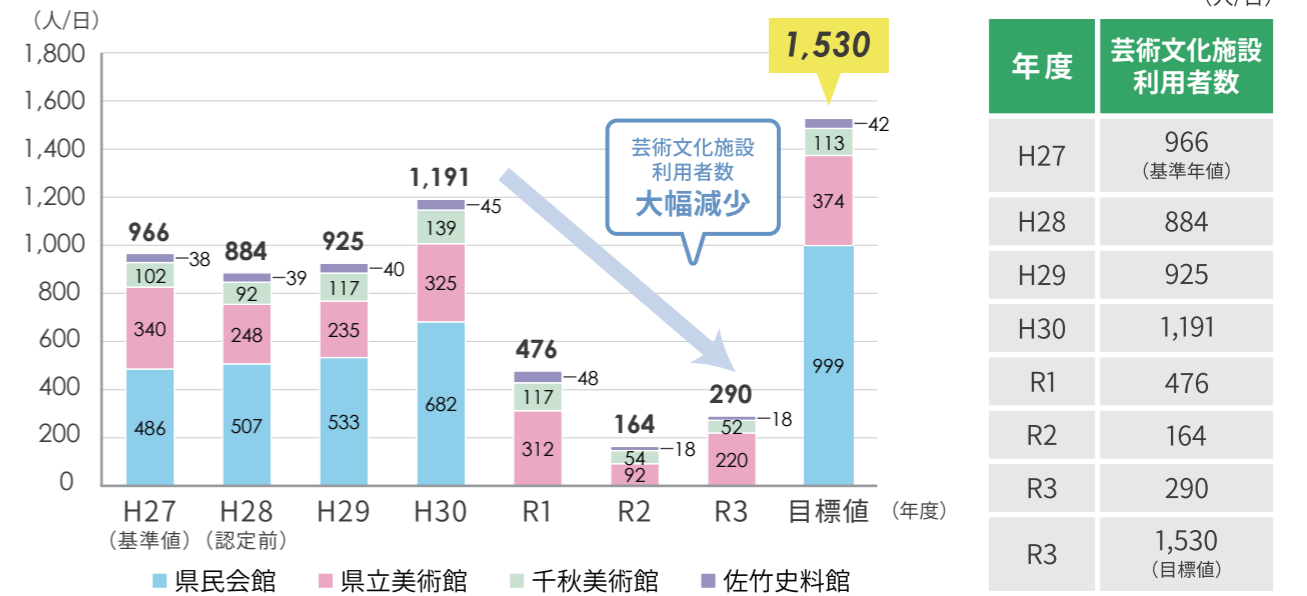
また、県立美術館、佐竹史料館、千秋美術館についても、新型コロナウイルス感染拡大による外出機会の減少により、いずれも期末値が基準値に届きませんでした。

新型コロナウイルス感染拡大が収束することで、令和4年6月にオープンしたあきた芸術劇場ミルハスなど第2期計画に位置づけた各種取組が本来の事業効果を発現し、佐竹史料館の建て替え、千秋美術館の改修などとの相乗効果で、芸術文化施設利用者数は改善すると推定されます。

調査地点図



芸術文化施設利用者数



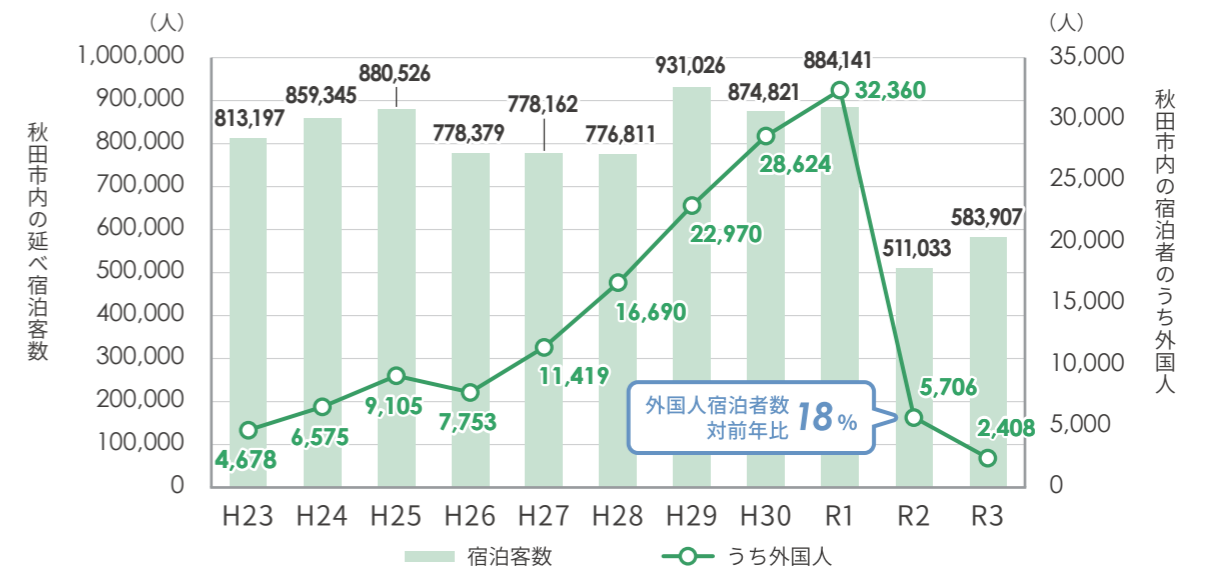
資料：秋田市立千秋美術館、秋田市立佐竹史料館、秋田市都市総務課

分析 2

新型コロナウイルス感染拡大が収束することにより訪日外国人による観光需要が回復することが期待される。

秋田市内の延べ宿泊者数（従業員10人以上の宿泊施設）を見ると、秋田市内の宿泊者のうち外国人数は、令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により対前年比18%と大幅に落ち込み、令和3年も減少しました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大以前の平成26年から令和元年まで一貫して増加傾向にありました。そのため、新型コロナウイルス感染拡大収束後は、千秋公園の四季の移ろいを感じられる遊歩道や秋田市まちなか観光案内所を拠点とした城下町でのまちあるき観光を中心に、訪日外国人による観光需要が回復することが期待されます。

秋田市内の延べ宿泊者数（従業員10人以上の宿泊施設）



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

3 中心市街地における人口の社会増加数

住みたい街

目標指標	基準値 (a) (H24~ H28の累計)	目標値 (b) (H29~ R3の累計)	期末値 (c) (H29~ R3の累計)	達成率 (c/b)	増加率 ((c-a)/a)
中心市街地における人口の社会増加数(累計)	26人	240人	27人	11%	4%

分析 1

新規建設マンションへの転入により、中心市街地の人口シェアは増加傾向にある。

平成28年度から令和3年度にかけて、全市の人口が8,082人減少する中、中心市街地では173人増加し、人口シェアも増加しています。

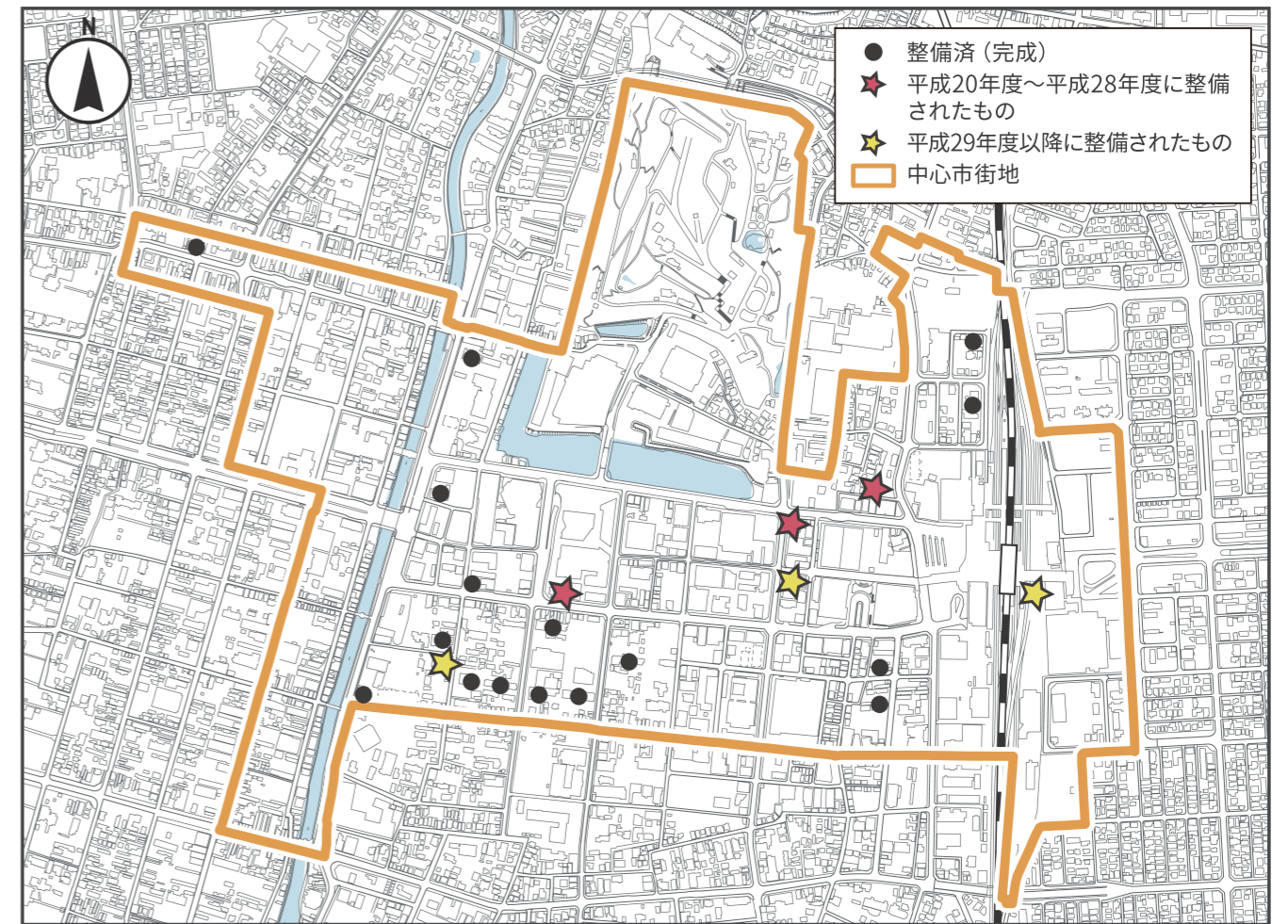
その要因は、秋田駅東口の学生マンションや中通二丁目地区優良建築物等整備事業で整備された秋田版CCRC拠点施設「クロッセ秋田」など、マンション建設に伴う中心市街地人口の社会増によるところが大きいと考えられます。また、今後も中心市街地に複数の民間マンションが完成する予定であり、中心市街地の人口シェアは更に増加するものと予測されます。

全市および中心市街地の人口推移

指標/区域		平成28年度	令和3年度	増加率
人口	中心市街地	4,083人	4,256人	+4.2%
	全市	313,668人	305,586人	▲2.6%
人口シェア		1.30%	1.39%	+0.09ポイント

資料：「国勢調査」「秋田市年齢別・地区別人口」 ※中心市街地人口：小字ごとの面積比を乗じて算出

中心市街地における7階建て以上のマンション位置図



資料：秋田市建築指導課（令和4年4月現在）

分析 2

快適で便利なまちなか居住を支える生活利便施設が不足している。

マンション建設に伴い中心市街地の人口は増加しているものの、一方で転出人口も多く見られ、第2期計画では目標値を達成することができませんでした。

令和4年4月に実施した居住者アンケート調査によると、「周辺環境への満足度」は高いものの、「不満な点」として、「日常の買物の利便性」や「まわりの道路の狭さ・一方通行」が挙げられています。また、「生活の場として欲しい機能」では、「冬でも安全に歩ける融雪歩道等」や「日常的な買い物に対応した商業施設」が上位に挙げられています。

さらに、「中心市街地に不足している専門店」は「電気店」、「食料品店」、「家具・インテリア販売店」となっています。

以上のことから、第2期計画に引き続き、定住化の促進等に向けて生活利便施設の更なる充実が望まれています。

4 商業集積促進関連制度利用件数（累計）

活力ある街

目標指標	基準値 (a) (H23~H27の累計)	目標値 (b) (H29~R3の累計)	期末値 (c) (H29~R3の累計)	達成率 (c/b)	増加率 ((c-a)/a)
商業集積促進 関連制度利用件数 (累計)	34件	50件	181件	362%	432%

分析1

中心市街地商業集積促進事業補助制度を中心に想定以上の利用件数がある。

令和3年度事業件数内訳を見ると、中心市街地に関連する利用件数34件のうち約7割の23件を中心市街地商業集積促進事業補助制度が占めています。同制度は空き店舗等への出店にかかる改装費、宣伝広告費および賃借料の一部を補助することで、新規出店を促し、中心市街地の活性化を図るものであり、第2期計画に基づく各種事業の完了を見据えた出店意欲の高まりや不動産業者等への制度周知が進んだことが、目標値を大幅に上回った要因として考えられます。

令和3年度事業件数内訳

事業名称	令和3年度
中心市街地商業集積促進事業補助制度利用件数	23
中心市街地出店促進融資あっせん制度利用件数	7
小売業等チャレンジ支援事業利用件数	0
商工業振興奨励措置事業利用件数	4

資料：秋田市商工貿易振興課、企業立地雇用課

分析2

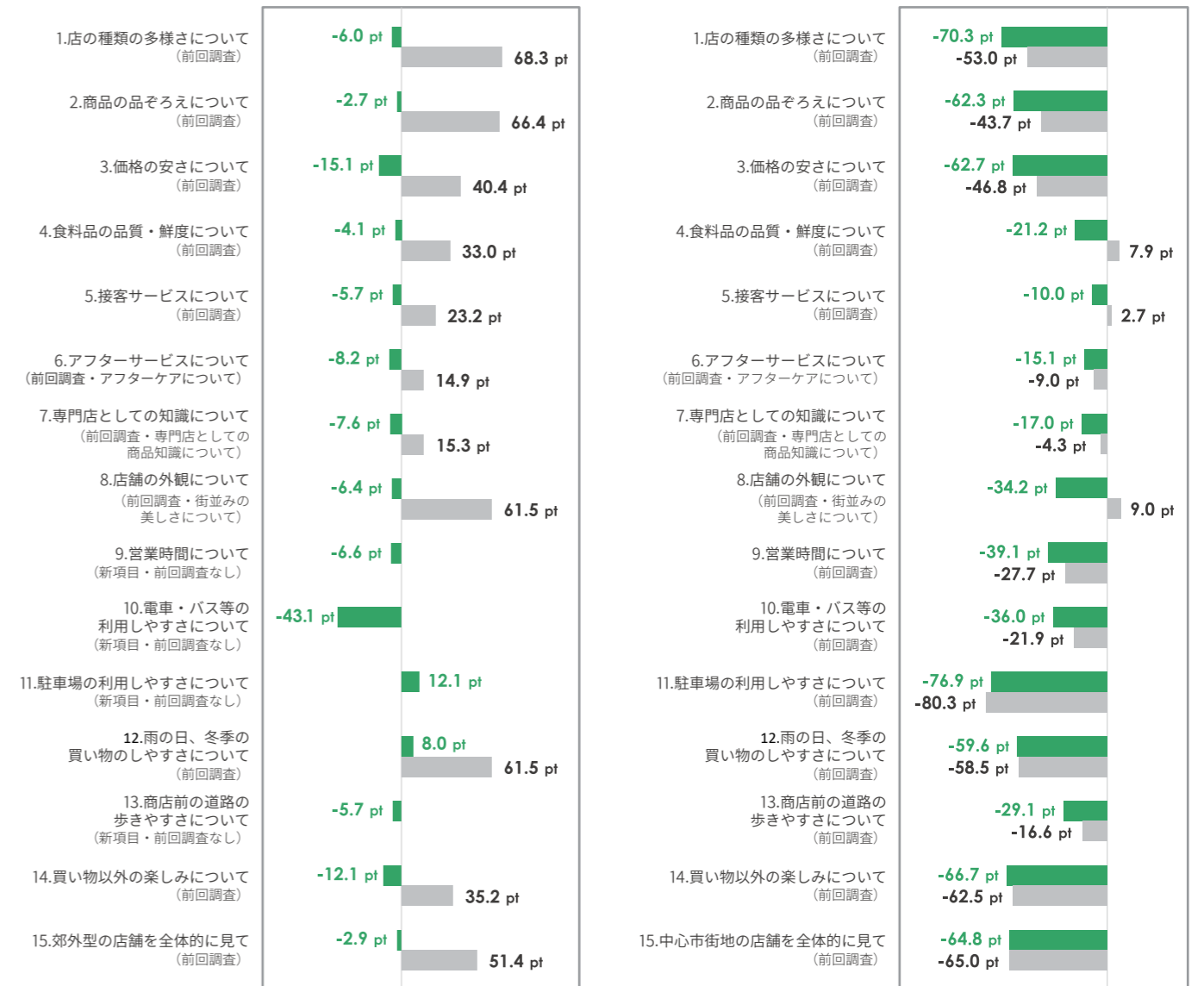
中心市街地内外問わず市内店舗の満足度が低下している。

令和4年4月に実施した市民アンケート調査による「中心市街地以外の大型小売店やショッピングセンターの評価」は、平成28年2月に実施した市民アンケート調査の結果と比較して、低下しています。また、「中心市街地の店舗の評価」は、平成28年2月の調査と比較して、「中心市街地以外の大型小売店やショッピングセンターの評価」の落ち込み具合よりも緩やかではあるものの低下しており、各項目は中心市街地以外の店舗と比べ低い傾向にあります。

要因としては、新型コロナウイルス感染拡大が拍車をかけた、インターネットショッピングの普及などにより、実店舗の満足度が相対的に低下したことが考えられます。

中心市街地以外の大型小売店やショッピングセンターについて以下の項目をどのように評価しますか

中心市街地の店舗について以下の項目をどのように評価しますか



1.満足：2pt 2.やや満足：1pt 3.普通：0pt 4.やや不満：-1pt 5.不満：-2pt

■ 平成28年2月調査結果 ■ 令和4年4月調査結果

資料：市民アンケート調査結果（今回：令和4年4月実施、前回：平成28年2月実施）※各回答割合に満足度別の配点（ポイント）を乗じて算出



5 市民活動等施設利用件数

活力ある街

目標指標	基準値 (a)(H27)	目標値 (b)(R3)	期末値 (c)(R3)	達成率 (c/b)	増加率 ((c-a)/a)
市民活動等施設 利用件数	20,196件/年	20,800件/年	17,082件/年	82%	-15%

分析 1

新型コロナウイルス感染拡大による外出機会減少の影響により、市民活動等施設利用件数が減少した。

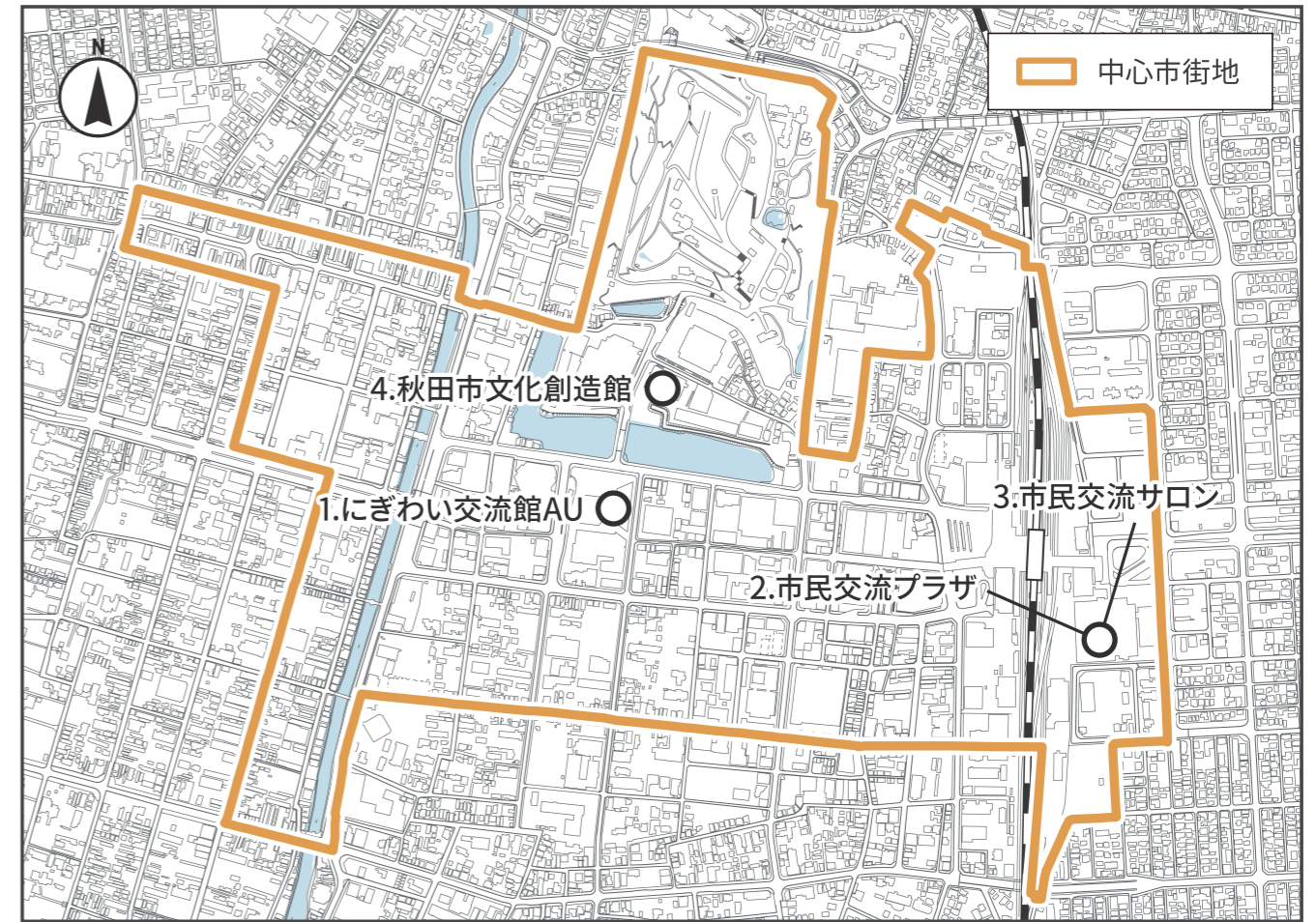
市民活動等施設利用件数の期末値は17,082件であり、基準値より大幅に減少していますが、その要因は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による外出機会の減少により市民活動が減少したことが考えられます。

分析 2

秋田市文化創造館の利用件数は目標値を大きく上回った。

秋田市文化創造館は、目標値を類似施設の利用実績から524件と設定していましたが、期末値では1,514件となっており、利用件数は目標を大きく上回りました。市民が利用しやすい立地であることに加え、様々なイベントやプロジェクトを開催したことが成功の要因と考えられます。新型コロナウイルス感染拡大の中での目標値を上回る結果であるため、感染が収束することで、更なる増加が期待されます。

調査地点図



市民活動等施設利用件数

	平成27年度 (基準値)	平成28年度 (計画前年度)	平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)	令和2年度 (4年目)	令和3年度 (5年目)	目標値
1 にぎわい交流館AU	13,620	14,096	14,230	13,518	12,993	10,601	11,173	13,620
2 市民交流プラザ	5,991	6,339	6,586	6,404	5,970	3,413	3,831	5,991
3 市民交流サロン	585	520	637	611	497	511	564	700
4 秋田市文化創造館	0	0	0	0	0	14	1,514	524
合計	20,196	20,955	21,453	20,533	19,460	14,539	17,082	20,800

資料：秋田市観光振興課、秋田市民交流プラザ管理室、中央市民サービスセンター、秋田市文化振興課

第2期計画の目標指標の達成状況のとりまとめ

✓ 活性化の目標

- 行きたい街**  
市内外から来訪する多くの交流人口が行き交うまち
- 住みたい街**  
愛着と誇りを持って多くの市民が暮らすまち
- 活力ある街**  
新たな市民文化を育む多世代が交流する活力あるまち

評価指標と目標値・実績値	達成状況
歩行者・自転車通行量 (平日・休日の平均) 目標 35,000人 → R3 20,539人	×
芸術文化施設利用者数 (一日あたり) 目標 1,530人 → R3 290人	×
中心市街地における人口の社会増加数(累計) 目標 240人 → H29~R3の累計 27人	△
商業集積促進関連制度利用件数(累計) 目標 50件 → H29~R3の累計 181件	○
市民活動等施設利用件数 目標 20,800件 → R3 17,082件	×

○達成、△未達成(改善)、×未達成

✓ 事業の進捗状況

第2期計画に掲載した66事業のうち、65事業を実施、1事業が未実施であり、おおむね計画どおりに進捗した。

✓ 評価指標の達成状況

「中心市街地における人口の社会増加数」、「商業集積促進関連制度利用件数」の目標指標は基準値より改善したが、「歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)」、「芸術文化施設利用者数」、「市民活動等施設利用件数」は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、基準値より減少した。

✓ 目標ごとの評価

<b>行きたい街</b>	新型コロナウイルス感染拡大の影響等で通行量、芸術文化施設利用者数が減少した。来街者の回遊性が低い。秋田市内の宿泊者のうち外国人数も落ち込んだ。
<b>住みたい街</b>	マンションへの転入等により、定住人口は増加傾向にあるが、快適で便利なまちなか居住を支える生活利便施設が不足している。
<b>活力ある街</b>	中心市街地商業集積促進補助制度を中心に、活性化に必要な制度の認知が進んでいるが、店舗の魅力や市民活動等施設利用件数に課題が残る。

✓ 総括

第2期計画に位置づけられた各種取組により中心市街地において活性化の兆しはみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた目標指標の達成状況を考慮すると、今後も継続して活性化に取り組んでいく必要がある。

中心市街地に関する各種統計データから見た整理、市民ニーズから見た整理、第2期計画の目標指標の達成状況から見た整理の3つの視点から、中心市街地の現況をまとめ、にぎわい、人々の居住、事業者・市民活動に着目し再整理しました。

視点1...統計データから見た整理

- 秋田市全体の人口は減少傾向にあるものの、中心市街地の人口は増加傾向にある。
- 空き店舗が継続的に発生している。
- 中心市街地の観光入込客数は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に減少している。
- 中心市街地には依然として大規模低未利用地が存在している。
- 駅前商業地の地価が令和元年に27年ぶりに上昇に転じた。

視点2...市民ニーズから見た整理

- 来訪頻度は「月に1~2回」「上記未満/ほとんど行かない」といった低頻度が約7割ほどを占めている。
- 市民からは今後の中心市街地活性化の方向性として、「周辺からの交通利便性」「集客力のある施設整備」「商店街の店舗数を増やす」などの項目が上位に挙げられた。
- 商店主からは今後の中心市街地活性化の方向性として、「商店街の店舗数を増やす」「中心市街地に事業所を誘致」などの項目が上位に挙げられた。
- 居住者の周辺環境の満足度は「満足」「まあまあ満足」合わせて約85%と高い満足度を示していた。
- 低未利用地所有者の活用方針として「当分現状のままにしておきたい」が約85%を占めていた。
- 平日、休日どちらも70%以上の中心市街地来訪者が更なる活性化を求めている。

視点3...第2期計画の目標指標の達成状況から見た整理

- 歩行者・自転車通行量(未達成)**
  - 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、歩行者・自転車通行量が減少した。
  - 各地点で歩行者・自転車通行量に数値の開きがあり、中心市街地全体の回遊性が低い。
- 芸術文化施設利用者数(未達成)**
  - 新型コロナウイルス感染拡大の影響、芸術文化施設利用者数が減少した。
  - 新型コロナウイルス感染拡大が収束することにより訪日外国人による観光需要が回復することが期待される。
- 中心市街地における人口の社会増加数(未達成(基準値より改善))**
  - 新規建設マンションへの転入により、中心市街地の人口シェアは増加傾向にある。
  - 快適で便利なまちなか居住を支える生活利便施設が不足している。
- 商業集積促進関連制度利用件数(達成)**
  - 中心市街地商業集積促進事業補助制度を中心に想定以上の利用件数がある。
  - 中心市街地内外を問わず市内店舗の満足度が低下している。
- 市民活動等施設利用件数(未達成)**
  - 新型コロナウイルス感染拡大による外出機会減少の影響により、市民活動等施設利用件数が減少した。
  - 秋田市文化創造館の利用件数は目標値を大きく上回った。

にぎわい、人々の居住、事業者・市民活動に着目し再整理

にぎわいに着目!!

現況 1

- まちなかにぎわいが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け低下している。
- 第1期、第2期計画を通して、にぎわい創出に寄与する各種施設が整備されてきている。
- 中心市街地全体の回遊性が低い。
- 交通利便性の向上が求められている。

人々の居住に着目!!

現況 2

- 民間マンションの建設により居住人口は増加傾向にある。
- 居住者は、日常的な買物に対応した商業施設や安全、快適で便利な居住環境の整備を望んでいる。

事業者・市民活動に着目!!

現況 3

- 中心市街地内外問わず、店舗の満足度が低下している。
- 継続的に空き店舗が発生し、大規模な空き地・空きビルが存在している。
- 市民活動の活発化への基盤が形成されてきている。